

ペインティング・ジャーナル

PAINTING JOURNAL Vol.3

塗装その先の未来

天気の良い休日は、家族揃ってペインティングを



目次

天気の良い休日は、家族揃ってペインティングを

塗るものにふさわしい塗料を使いましょう!!	2・3
塗装用具	4・5
刷毛の使い方	6・7
上手に塗るための10カ条	8
水性塗料の特色	9
カラーコーディネート 住まいの快適カラー	10
便利な知恵袋	11
平成26年度相談(電話)予定日	12

■塗るものにふさわしい

塗料は、屋内用、屋外用を問わず、多くの種類があり、作業性が良い便利な水性塗料。

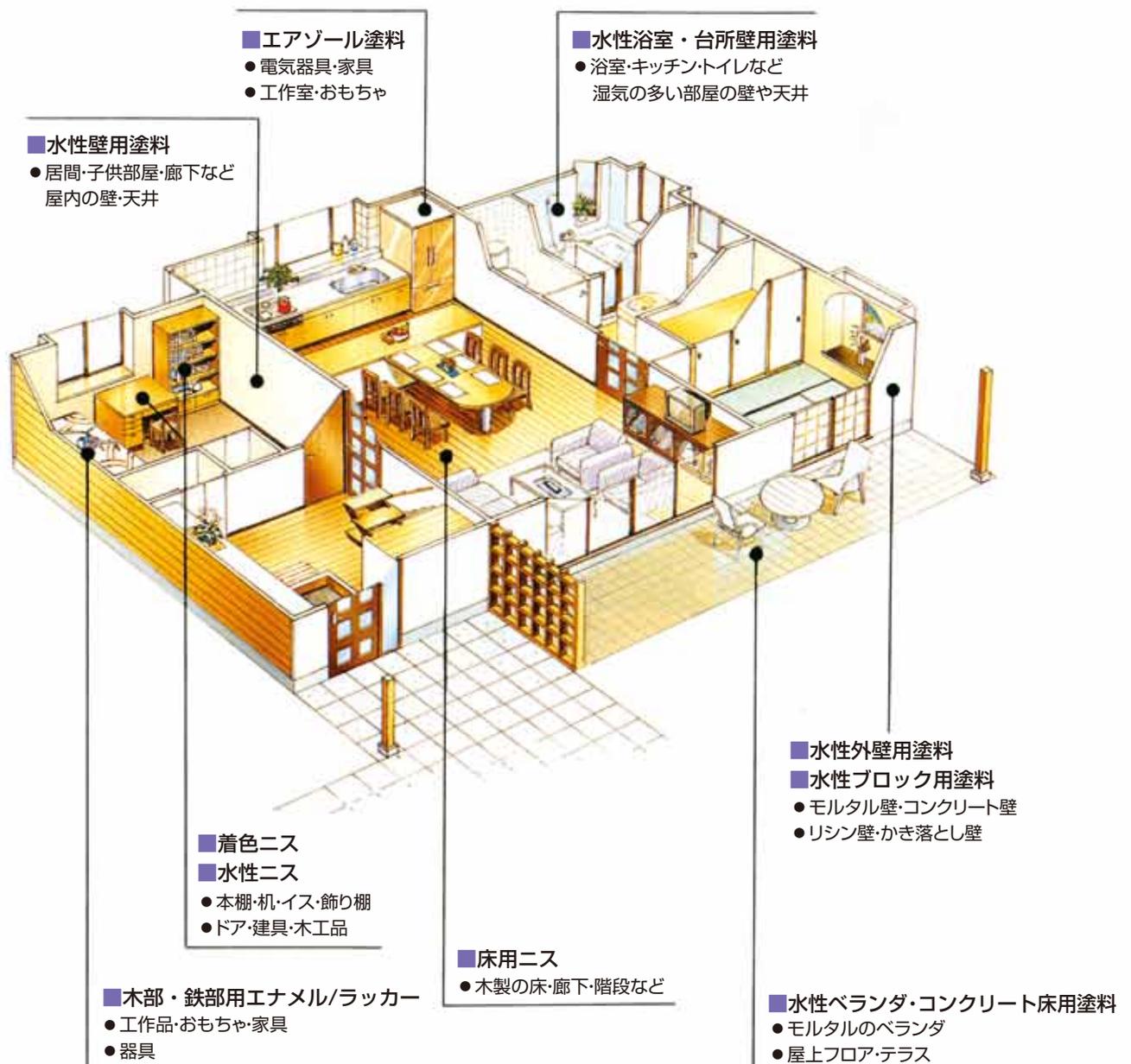
～屋外用塗料～



塗料を使いましょう！！

使用後の刷毛（ハケ）を簡単に水洗いできる、安全で

～屋内用塗料～



■ 塗装用具



平バケ
(油性)



平バケ
(水性)



スジカイバケ
(油性)



スジカイバケ
(水性)

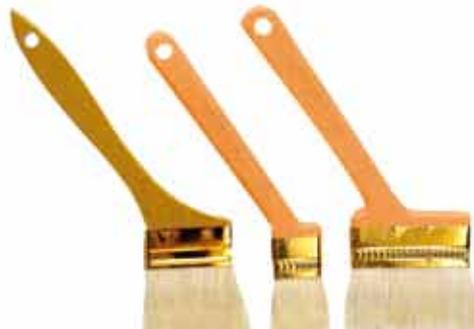
文字筆



小バケ



ズンドウバケ
(油性)



スジカイバケ
(ニス性)



ローラーバケと
つぎ柄

ローラーバケと受け皿
水性壁用塗料・トタン用塗料などを
広い面に塗るときに…



ペイントスプレーヤー
広い面の塗装、塗りにくい物の塗装、
殺虫剤の散布に。
ハンディタイプのスプレー塗装機。



コテバケ
水性壁用塗料・トタン用
ペイントなどを広い面に
塗るときに…



マスキングテープ
塗料がついては困る部分を、
このテープや新聞紙でカバー。



スクレーパー
古い塗膜やひどいサビを
かき落とすのに使う。



皮スキ
はがれかけたり、浮き上がった古い塗膜を
掘り起こすようにし、取り除くのに使う。



ワイヤーブラシ
古い塗膜を落したり、ひどいサビを落として、
鉄部の表面をみがくのに使う。



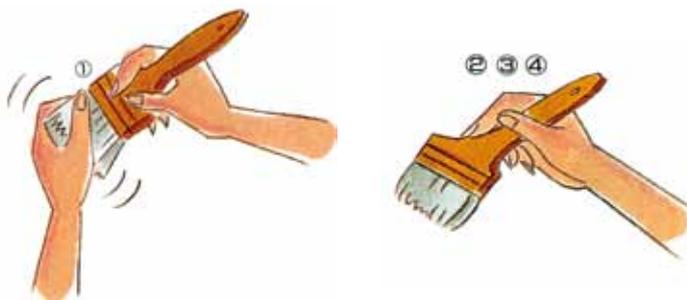
サンドペーパー 耐水ペーパー
塗る面をなめらかにするために用いるもので、
金属表面のサビ落としや、木部の素地調整などに使う。

■ 刷毛（ハケ）の使い方

- ①塗装中に抜け毛がつかないように、新しく刷毛（ハケ）をおろすときは使用前によくもみほぐし、抜けかかった毛を取り除いておく。さらにザラザラした板の表面に刷毛（ハケ）をなでつけるようにすると、抜け毛がきれいに取れる。この作業をせずに使った場合は、塗装面に抜け毛がついて、仕上がりがきたなくなる。

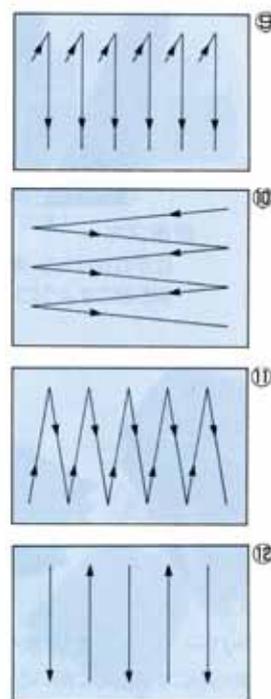
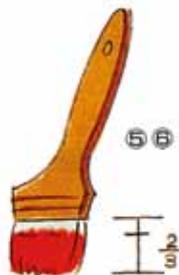
刷毛（ハケ）の持ち方

- ②柄の中心よりやや上を持つ
③あまり強く握らない。
④刷毛（ハケ）を楽に動かせるように、ひじや手首にあまり力を入れない。



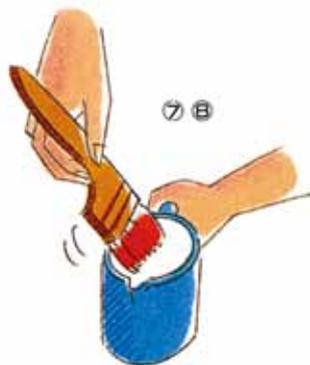
塗料の含ませ方

- ⑤毛先から3分の2くらいまでを塗料の中に入る。
⑥毛先に塗料をムラなく含ませる。
⑦容器の内側に柄が触れないようにする。
⑧容器の端で軽くしごき、タレないようにして刷毛（ハケ）を持っていく。



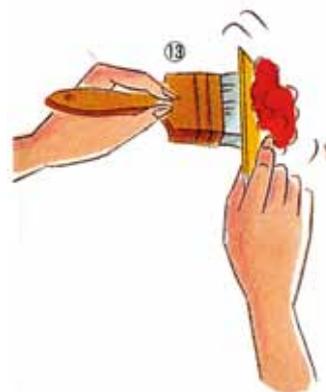
刷毛（ハケ）の動かし方

- ⑨塗料をくばる。
⑩塗料を広げる。
⑪刷毛（ハケ）目を揃えて仕上げる。
⑫ラッカーのように乾きの速い塗料は、タテやヨコに刷毛（ハケ）を動かさずに、一定方向だけにすばやく塗って仕上げる。



刷毛（ハケ）のあとしまつ

- ⑬刷毛（ハケ）をいつまでも長持ちさせるには、使ったあとの手入れが大切です。
刷毛（ハケ）に残っている塗料はヘラなどでしごいで取り除き、さらに新聞紙等にこすりつけて塗料を落としておきます。そのあと、使った塗料用のうすめ液でよく洗い、最後に中性洗剤で洗い上げます。ローラーバケやコテバケも同じ要領です。
洗ったあとはひもにつるして陰干にする。



ローラーバケの使い方

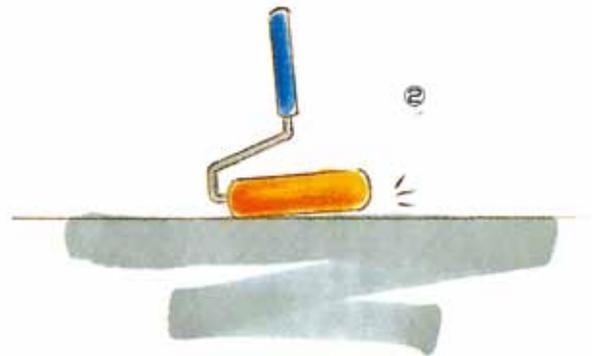
ローラーバケの持ち方

- ①親指をそろえて持つ。
- ②塗る面よりローラーバケを浮かさない。
- ③あまり力を入れて押しつけない。



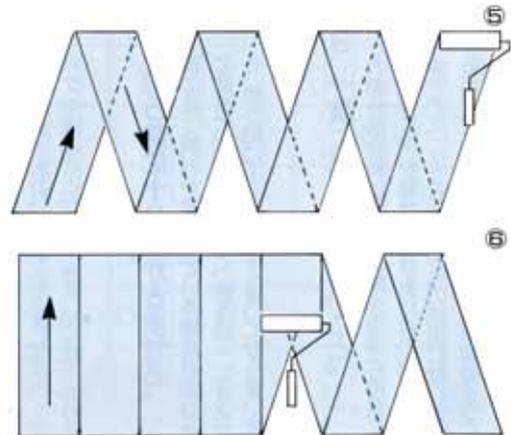
塗り方

- ④ローラーバケを受け皿の上でよく転がし、塗料をまんべんなくよく含ませる。
- ⑤塗る面には、最初M字形に塗料をくばり、間をおかず均一に上下左右に塗り広げる。
- ⑥最後に軽く上下にローラーバケを動かして仕上げる。



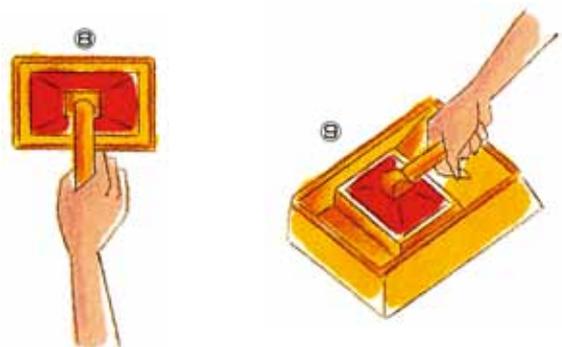
Attention!

ローラーの回転が速いと、塗料が飛び散るので、ゆっくりと大きく動かす。
 平滑な面は短毛のものを、凹凸のある面は中毛のものを、凹凸が大きい場合は長毛のものをを使う。



コテバケの使い方

- ⑦塗料を受け皿に移す。
- ⑧コテバケの柄は中央をしっかり握り、パッドに塗料をよく含ませる。
- ⑨塗る面にそってすべらせるように塗る。



■上手に塗るための10カ条

1. 塗るもの（素材・場所）に適した塗料を選ぶ。

塗料には使いみちや目的によって、様々な種類がある。あやまった使い方をすると、きれいに仕上がらなかったり、あとで下からサビが出たり、塗料がはがれたりする。容器に印刷された用途表示をよく読んで塗料を選ぶ。



2. 塗料に適したうすめ液を使う。

うすめ液は、塗料が濃すぎて塗りにくいときにうすめたり、刷毛（ハケ）を洗うとき、また、塗りよごしや衣類についたときに落とすために使う。

うすめ液は塗料の種類によって異なります。使用するうすめ液の種類が容器に表示してありますので、正しいうすめ液を使ってください。

3. 塗料や塗るものに適した塗料用具選びを。

刷毛（ハケ）は使う塗料の種類によって、ペイントバケ・水性バケ・ニスバケの3種類がある。形もズンドウバケ・平バケ・スジカイバケと分かれている。また広い面用にローラーバケやコテバケもある。塗料や塗る場所に応じた塗料用具を使えば、仕上がりもきれいになり、作業能率もグンとあがる。

4. 塗装は天気の良い日に。

雨の日や湿気の多い日に塗装をすると、なかなか乾かなかったり、表面が白く濁ったりすることがある。また冬など気温が低いときは、乾かない場合があり、塗装はできるだけ天気の良い日を選び、冬は日中に塗るようにする。

5. 塗る場所は風通しを良く。

塗る場所は風通しを良くする。閉めきっておくと、乾燥しにくくなったり、臭いがこもったりするので室内の塗装の場合は、特に換気に注意する。



6. 素地をよく整える。

塗装の前には、塗るものを良く乾燥させ、表面の手入りを十分に行う。よごれ・はがれた古い塗膜・サビ・油分・カビなどは、きれいに落としておく。そのまま塗ると、はがれたり、よごれがしみ出てきたりする。

7. マスキングテープの活用。

どんなに気をつけて塗っても、余分なところをつい塗りよごしてしまう。塗料がついてはいけないところはマスキングテープや新聞紙でおおいをしておく。塗りよごしを気にせずハケを運ぶことができ、きれいに仕上がる。



8. 使う前に十分にかきまぜる。

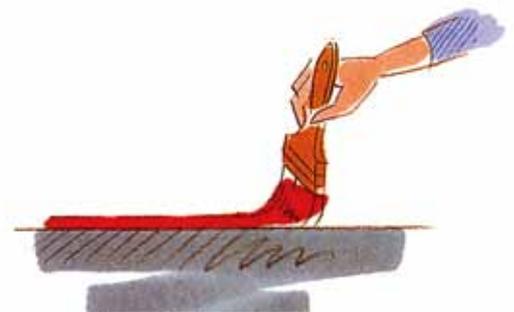
缶の底に顔料が沈殿している場合がある。使う前は棒などで底までよくかきまぜて、色を均一にすることが大切。スプレーも、使う前に1～2分よく振ってから使う。

9. 一度に厚く塗らないこと。

大部分の塗料は、一度に厚く塗ると表面だけが乾いて中が乾かない状態になる。これはチヂミ・シワやヒビ割れの原因になりますから、塗料は薄く、2～3回塗り重ねる。

10. 重ね塗りは、前の塗料が良く乾いてから。

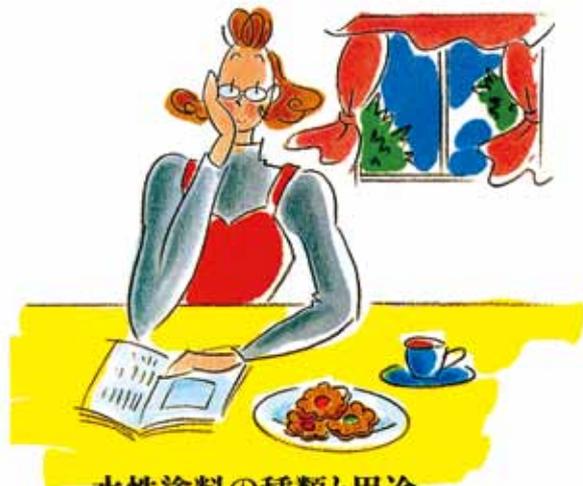
2～3回塗りで仕上げる場合、前の塗料が十分に乾いてから塗り重ねる。乾かないうちに塗ると、厚塗りをした場合と同じようなトラブルが起こることがある。



■水性塗料の特色

水性塗料は油性塗料やラッカーに比べて、多くのメリットをもっており、簡単にご紹介します。

1. 塗りやすく、シンナー臭くない。
2. 水でうすめられることはもちろん、使ったあと、ハケなどの用具を水で洗うことができる
3. いったん乾燥すると、水に溶けない丈夫な塗膜になる。
4. 石油などの揮発性溶剤を使っていないので、火気にも安全。



水性塗料の種類と用途

塗料の種類	場所	鉄 部					木 部					壁・コンクリート			プラスチック							
		トタン 屋根	門扉	フェンス 手摺戸	雨戸	自転車 車輪	電気 製品	羽目 板	戸袋 板	家具 品	木 工 品	ポ ー チ の 柱	浴 室 壁	ブ ロ ッ ク モ ル タル	石 膏 ボ ー ド	床	ス レ ー ト セ メ ン ト 瓦	硬 質 塩 ビ ル	ア ク リ ル	A B S	発 泡 ス チ ロ ール	
水性塗料	水性壁用	屋内										○	○	○				○				
	水性浴室・台所壁用	屋外 屋内										○	○	○	○				○			
	水性つや有りペイント	屋外 屋内	○	○	○			○	○			○	○	○	○			○	○	○	○	
	水性ベランダ コンクリート床用	屋外										○			○							
	水性弾性塗料	屋外										○		○								
	水性外部用 ステインペイント	屋外						○	○		○	○									○	
	水性外壁ブロック用	屋外 屋内										○	○	○	○							
	水性さび止め ペイント	屋外 屋内		□	□		□	□	□													
	水性鉄部用エナメル	屋外 屋内	○	○	○	○	○												○	○	○	○
	水性瓦用ペイント	屋外															○					
	水性トタン用ペイント	屋外	○																○			
	水性ニス	屋内								○	○											
	水性ステイン	屋内								○	○											
水性床用ニス	屋内						○			○	○											

※備考 ○最も適している。 ○適している。 □下塗りとして使用する。

■ カラーコーディネーション 住まいの快適カラー

美しく調和のとれた色彩は、心に安らぎとくつろぎを与えてくれる。快適な生活空間をしつらえるには、視覚から受けるカラーコーディネーション（色彩調整）が特に大切と言える。日常を過ごす住まいだから、ビジュアルな感覚を通して、個性的で創造性あふれるスペースであることが必要ではないでしょうか。

カラーコーディネーションを考えると、まず環境との調和、家族の暮らし方、住まいのイメージを認識した上で、塗装していく。

住まいのカラーコーディネイト

スペース	役割	ポイント
外 観	近隣の環境との調和を重視しながら、住む人のパーソナリティーを表現することが大切。	上品さや風格を表現することはもちろん、外から人を招きやすい親しみ感や暖かさを持った色が最適。
玄関ホール	外部とのつながりのスペース。住まいの顔となる部分ですから、人を歓迎する雰囲気が必要。	住む人の知性や品格、個性を感じさせる配色。訪れた人を包みこむようなやさしさが必要。
リビング	家族や友人、知人とのコミュニケーションスペース。自然と会話が弾む明るいイメージにする。	明るい楽しさを一番に考え、安らぎとくつろぎを感じるカラー。誰でも親しめ、広がりを感じさせるナチュラル系やグレイ系が適している。
キッチン	楽しく家事ができ、クッキングの作業性や安全性の配慮が必要。できあがった料理をおいしく見せることも考える。	広がりを持つ圧迫感のないカラーコーディネイト。例えばクリーム系や淡いピンク系がふさわしい。
浴室	健康的で気持ちをリフレッシュさせる色。家族のコミュニケーションの場という点も忘れてはいけない。	さわやかな清潔感を重視して、暖色系の明るい色。特にピンク系統は皮膚の色を美しく見せる効果がある。
主寝室	夫婦のプライベートコミュニケーションスペース。睡眠、更衣、化粧や読書など様々な用途を考慮しなければいけない。	くつろぎ、安らぎを第一に考え、個性的でやさしい柔らかさが必要。オリジナリティあふれる色調を明るい中間色から選ぶ。
子供部屋	遊ぶ、学ぶ、眠る、造る。子供部屋は多彩に活躍する。独立心を養うのびのびとした雰囲気を表現する。	楽しく夢のある空間であること。創造性豊かであることを考える。ナチュラルカラーを基調にパステルカラーをアクセントにし、躍動感のある配色。
和 室	伝統的な様式である和室は、落ち着いた雰囲気が必要。自然な素材との調和を心がける。	人工的な色味を感じさせる強く。派手な色はさけ、グレイッシュで色味を抑えた配色にする。

■知恵袋

1. 受け皿はアルミホイルでくるんで

ローラー皿をアルミホイルでくるんで使うと、洗わずにしまえる。
これで後始末の手間が一つ省ける。



2. 衣服についたとき

(塗装のときは、よごれてもよい服装で作業する。) どんなに気をつけても、余分なところを塗りよごしたり、床にこぼしたり、衣服をよごしたりするもの。こんなときは、塗料が乾かいうちに、すぐに落とすことが大切。(水性塗料でも、乾くと取れにくくなる。) 水性塗料は水で、油性塗料はペイントうすめ液で、ラッカー系塗料はラッカーうすめ液ですぐにふき取る。衣服の場合は、そのあと中性洗剤で洗っておくのが良い。



3. 残った塗料を保存するとき

油性塗料は、使ったあとフタを堅くしめても缶の中の空気と塗料が反応して、塗料の表面に皮が張ってしまう。この場合は、その塗料は、その塗料に合ったうすめ液を上から少し注いで、フタを堅くしめておけばOK。また缶の直径に合わせて丸く切ったビニールを塗料の表面にのせて、フタを堅くしめておくと、皮張りを防ぐことができる。



4. ハケが固まらないようにするには

ハケやローラーバケをそのまま放置しておくと固くなってしまいます。今日塗って、明日また続きを塗る場合や、1回塗りが終わって2回塗りまで時間があるようなときは、ビニール袋に入れて、輪ゴムでとめておけば、空気にふれず、固まるのを防げる。うっかりしてハケが少し固まってしまったときは、しばらくラッカーうすめ液に浸しておくと柔らかくなる。



■平成26年度相談（電話）予定日

相談事業は、公益目的事業の一つである塗装技能・技術の知識の啓蒙普及事業の一環として、県市民の皆様の塗料・塗装工事への疑問や問題に対し、中立的な立場の専門家（ペイントコンシェルジュ）からの助言で、問題等の解決支援を行うものです。

本事業は、この他に、大人を対象の実践的な塗装教室、小・中学生を対象の親しんでもらう体験教室「ペイント工房」やボランティア活動等です。

平成26年度の相談事業は、電話相談6回（奇数月）と巡回相談を2箇所予定しています。

巡回相談の開催地区は、まだ決まっておりませんが、電相相談は、下記のとおりです。

電話・巡回いずれの相談も無料です。

○電話相談

開催日時（原則奇数月の3火曜日）

5月20日（火）午後1時30分～午後4時30分

7月15日（火）午後1時30分～午後4時30分

9月16日（火）午後1時30分～午後4時30分

11月18日（火）午後1時30分～午後4時30分

1月20日（火）午後1時30分～午後4時30分

3月17日（火）午後1時30分～午後4時30分

○お掛け間違いのなきようお願いいたします。

○当日解決できない疑問や問題は、後日専門家よりご連絡いたします。

○非通知でのご相談は、お受けできませんので、予めご了承下さい。

○本相談の個人情報、相談事業以外には使用することはありません。

相談専用電話 045-265-3960（相談日専用です）

